

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	04 健康・保険 ～元気・健康の好循環が生まれるまち～		
	施策	14 保健・医療 ー保健活動と地域医療体制の充実を目指し、生涯を通じた健康づくりを支援しますー		
重点プロジェクト		いきいき“元気・健康”プロジェクト		
総合戦略		出産や子育てのしやすいまちを創出する 安全・安心な暮らしを守るとともに、デジタルの力を活用した魅力ある地域を構築する		
主管課		こども・元気健康部 保健センター	評価責任者	増村 規子
			評価日	令和7年6月2日
関連課		保険・年金課、子育て支援課、高齢福祉課、こども家庭センター		
目標		市民が必要とする保健・医療サービスが受けられるよう、地域の医療体制の充実を図ります。また、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに関心を持ち、ライフスタイルやライフステージに合わせた取組を継続できるよう、総合的な健康対策を推進し、地域全体に健康志向の輪を広げます。		
施策目標の実現に向けた取組		(1) 地域医療体制の充実 ○医師会、歯科医師会等と連携し、地域医療体制や初期救急医療体制の整備・充実を図ります。		
		(2) 保健対策の推進 ○医師会、歯科医師会等との連携・協力体制を強化し、各種がん検診や生活習慣病予防対策を推進します。 ○関係機関との連携の下、母子保健対策や食育、歯科口腔保健等の体制整備・充実を図り、ライフステージに応じた取組を推進します。 ○感染症を予防するための予防接種を充実するとともに、感染症の予防とまん延防止のため、市民への適切な情報提供を行います。		
		(3) 健康づくりの推進 ○市民の健康寿命の延伸や健康格差の解消を図るため、健康づくりの柱となる生活リズムの確立、生活習慣病の予防、栄養・食生活、身体活動・運動、休養、歯科口腔の健康に関する事業などをライフステージごとに展開します。 ○心の健康づくりや自殺予防対策について、関係機関と連携のもと、ゲートキーパー養成をはじめとする自殺予防のための普及啓発を図ります。		

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	がん検診受診率(平均受診率)							
		説明	将来構想 後期基本計画に掲げている指標を基準とし、指針に基づく検診(肺・大腸・子宮頸・乳・胃(内視鏡))の受診率の平均を算出。胃がん検診(内視鏡)の受診率が低かったため平均受診率に達しなかった。							
		単位	%							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	12.00	12.25	12.50	12.75	13.00	13.25	13.50	
		実績値	10.70							
	指標2	指標名	妊娠届出時における妊婦の状況把握率【総合戦略】							
		説明	妊娠届出時に対象者全員に対しアセスメントシートを用いてアセスメントを実施し、妊婦の状況を把握することができた。アセスメントの判断基準として点数化を行い、必要に応じて支援プランの作成を行った。							
		単位	%							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値	100.00							
	指標3	指標名	ゲートキーパー養成者数(累計)							
		説明	身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができるゲートキーパーの養成について、令和6年度までの累計養成者数は1,450人と目標値を上回ることができた。							
		単位	人							
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600	
		実績値	1,450							
	指標4	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								
	指標5	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	819,315	0	0	0	0	0	0
	人件費	299,816	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	145,009	0	0	0	0	0	0
	一般財源	974,122	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組① 地域医療体制の充実	医師会や歯科医師会と連携し、地域医療体制や初期救急医療体制の整備・充実を図るため、各種補助金を交付。	初期救急医療の整備等に対して各種補助金を交付し安定的な運営を確保。(休日急患診療所開設日数71日・受診者数1,123人、市民公開講座参加者数280人等)また、東入間医師会と地域医療連携会議を実施し、意見交換や情報共有を行うなど円滑な連携を図った。	救急・地域医療支援事業
取組② 保健対策の推進	医師会・歯科医師会との連携・協力のもとがん検診(肺、大腸、子宮頸、乳、胃)及び各種の定期予防接種を実施。	がん検診の平均受診率は10.7%。乳がん検診は国が推奨する41歳の他に市独自の対策として46、51、56歳を対象に無料クーポン券を発行しクーポン対象者875人が受診。また、各種感染症に関しては市内での大きな流行はなく予防接種による一定の効果があった。	各種がん検診事業 予防接種(A類疾病)事業 予防接種(B類疾病)事業
取組③ 【総合戦略】 母子保健対策や食育、歯科口腔保健の推進	母子手帳の交付や新生児訪問時に、要支援者を把握、支援につなげることで母子保健対策の充実を図った。また、学校歯科指導や赤ちゃんの離乳食講座等でも食育を推進した。歯科口腔保健では、成人歯科検診や妊婦歯科健診を実施した。	母子手帳交付時、関係機関と連携のもと早期に支援を実施した。子どもたちを対象に行った講座では、歯科・食育の両面から健康についてアプローチし、歯科健診では、成人歯科健診240人、妊婦歯科健診158人の計398人が受診した。	母子保健包括支援事業 母性・乳幼児訪問指導事業 歯科口腔保健推進事業
取組④ 【総合戦略】 健康づくりの推進	第2期ふじみ野元気・健康プランに基づき、市民の健康寿命の延伸、健康格差の解消及び自殺対策など、各種の健康づくりの推進に関する事業を展開。	歩いた歩数などによりポイントが貯まる「元気・健康マイレージ事業」を実施。(活動者数1,604人)自殺対策として、市職員の他、市内大学等と連携しゲートキーパー養成研修を実施。(初級参加者131人)また、街頭キャンペーンで多くの市民に周知啓発を実施。	元気・健康づくり推進事業 こころの健康推進事業
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	本施策展開については、各種がん検診や予防接種、乳幼児健康診査、歯科健診等、様々な事業実施において、医師会及び歯科医師会の協力なくしては成り立たない。本市と各医師会とは良好な関係構築が図られていることから、『強力な連携体制』を生かし、継続的にスムーズな事業運営が展開できている状況である。保健センターでは、各ライフステージに応じた取組みを充実させるため、常に市民にとって有効且つ成果が期待できるよう事業を進めている。特に大腸がん検診においては、新たな取組として通知による個別受診勧奨を行い、受診率向上対策の充実を図っている。また、妊娠期からの切れ目ない支援を実施していくために、母子手帳交付後の全妊婦を対象に妊娠後期にアンケートを実施し、支援が必要な妊婦の把握に努め、産後の支援へつなげている。また産後ケア事業においては、市民の利便性を高めるため、利用施設を増やし実施した。令和7年度からは、新たに予防接種法上のB類疾病に帯状疱疹ワクチンが加わるため、定期接種の実施に当たり引き続き医師会に協力を要請し、接種体制の構築を図り進めていくものである。今後も、医師会並びに歯科医師会との連携体制を継続し、市民の健康増進並びに疾病の予防に向けて各種事業展開を図っていく。また、こころの健康づくりは全ての年代において重要な取り組みとなるため、引き続きゲートキーパーの養成を初めとする予防的支援に注力していく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	